

防災について考えよう

三河地震って？

その大きさは？

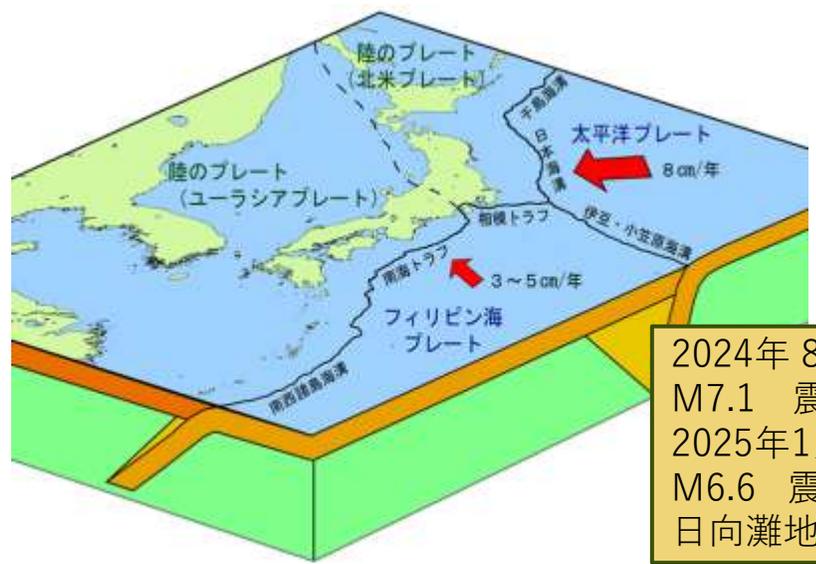
マグニチュード

M6	M7	M8
1	32倍	32x32倍

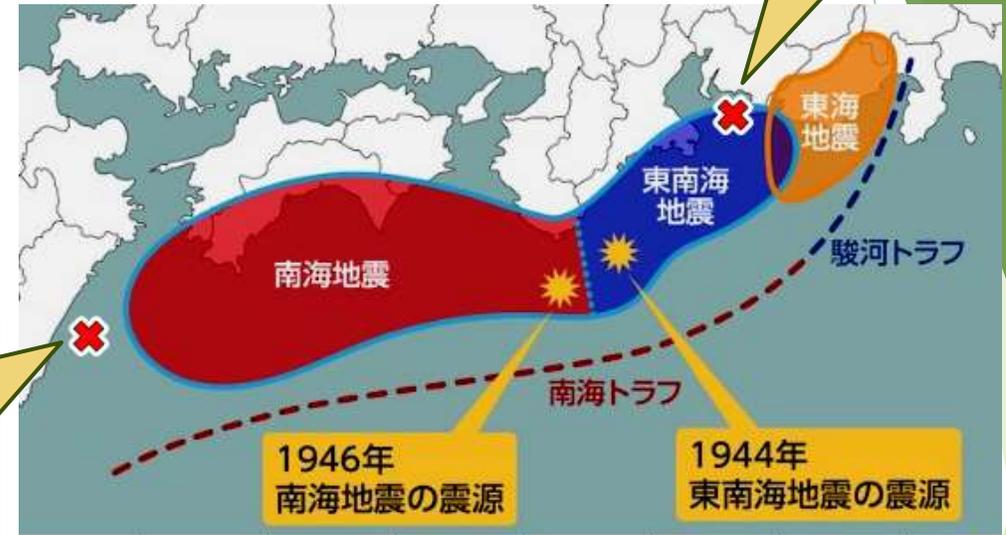
	終戦末期			
指標	三河地震	阪神淡路大震災	東日本大震災	能登半島地震
	昭和20年(1945年)	平成7年(1995年)	平成23年(2011年)	令和6年(2024年)
	1月13日 3:38	1月17日 5:46	3月11日 14:46	1月1日 16:10
マグニチュード	6.8	7.3	9	7.6
震度	最大震度7	最大震度7	最大震度7	最大震度7
死者数	約1,961人	約6,432人	約22,312人	504人
負傷者数	約1万人	約4万3千人	約6万人	不明
全壊家屋数	約2万4千戸	約7万戸	約50万戸	約1万2千戸
焼失家屋数	約1万戸	約4万戸	約12万戸	不明
経済被害額	約200億円	約6兆4千億円	約16兆円	約1兆6千億円

16:06 5強
 16:10 本震
 16:18 5強
 17:50 5弱

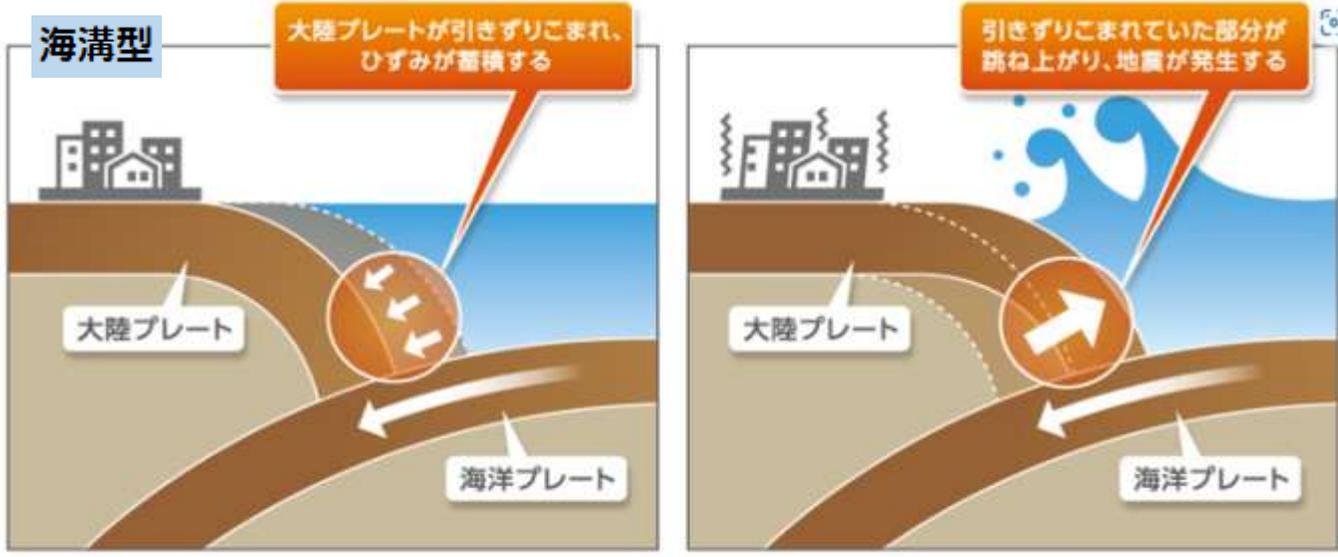
この近辺に影響のある地震のメカニズム



2024年 8月 8日
M7.1 震度6弱
2025年 1月 14日
M6.6 震度5弱
日向灘地震



1945年 M6.8
三河地震



海溝型：プレートの移動で歪みが蓄積
⇒一瞬で元の位置に戻る
断層型：プレート移動によって大きな力が加わり
岩盤が割れる ⇒歪みが蓄積
火山性地震：地下のマグマの動きや
火山の噴火などによる

プレートの移動量 ⇒ 約5mm/年 ⇒ 100年で約50cmの移動

①三河地震の被害 12/7東南海地震（同規模）

※寺院の倒壊（西尾市）

- *名古屋市の15の小学校の児童が集団疎開
児童が犠牲に（三河地方で約50名）・・・（西尾市31名）
- *名古屋に軍需工場が多くあった
- *寺院の屋根は重く壁がなく耐震性は脆弱

西尾市江原 妙喜寺(13名)



半壊の家屋を仮復旧



②三河地震の被害



③三河地震の被害

※断層



深溝断層



左の写真と同じ場所



深溝小学校
S46改築

小学校の
床下に割目



④三河地震の教訓

- * 冬の夜間に発生で避難が困難（避難場所がない）
- * 適切な情報伝達手段がなかった 混乱が生じた
- * 当時の耐震基準が低い 東南海で半壊の家屋が倒壊

S18年9月10日 鳥取地震（震度6）

S19年12月7日 東南海地震（震度7）

S20年1月13日 三河地震（震度7） 午前3時38分

S21年12月21日 南海地震（震度6）



- * 人手・資材不足で半壊家屋を修理できない
- * 余震が怖くて庭先で藁(ムシロ)で囲った所で生活

避難所で必要な持ち物リスト

防災グッズ（非常食、水、トイレットペーパーなど）

衣類（下着、上着、下着、靴下、帽子など）

着替え（長袖シャツ、長ズボン、パジャマなど）

寝具（布団、シーツ、枕など）

日用品（タオル、歯ブラシ、石鹸など）

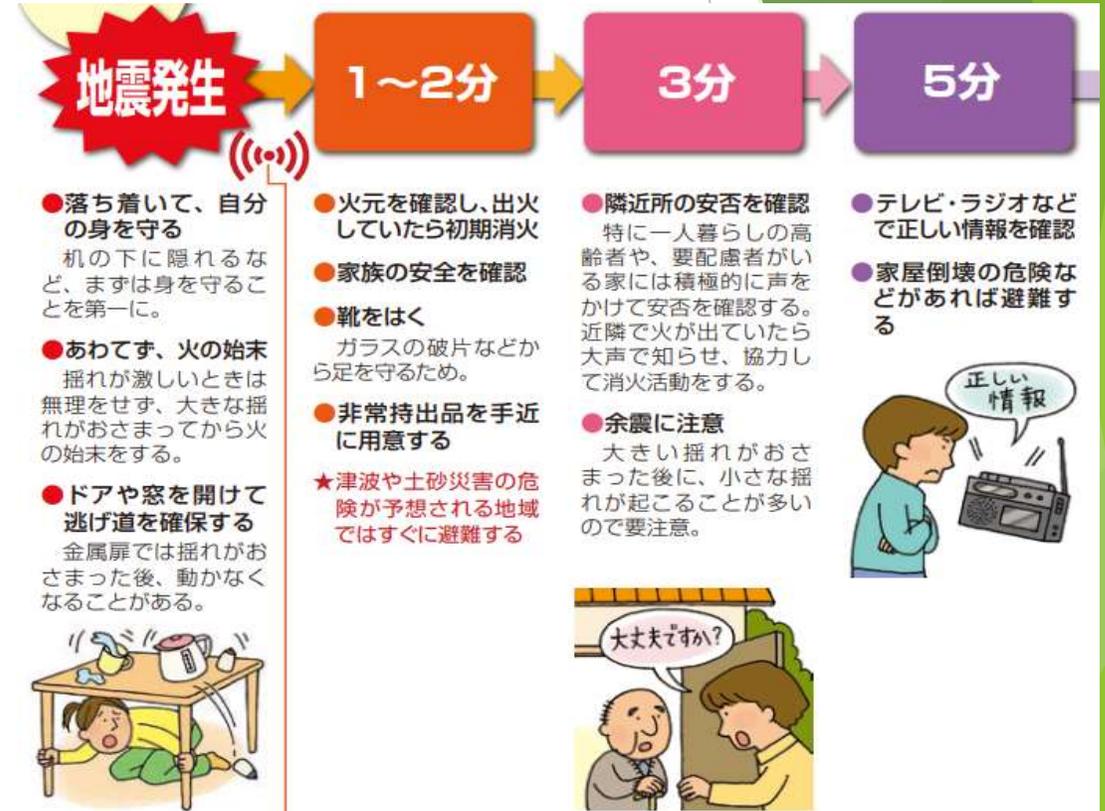
救急用品（絆創膏、消毒薬、熱さまシートなど）

金銭（小銭や1万円札など）

充電器や携帯用バッテリーなど

家族で話し合ってください

地震発生時の行動パターン



引用文献：1945三河地震報告書 中央防災会議 2007
三河地震の写真 他

六ッ美歴史民俗資料室は
大正天皇の大嘗祭を勉強
する最適な場所です。